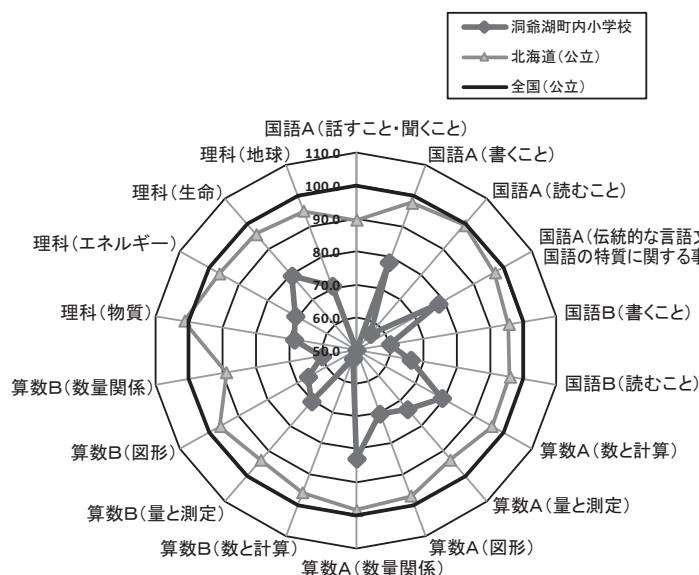


■洞爺湖町内小学校の状況及び学力向上策（学校数：3、児童数：49名）

【教科全体の状況】

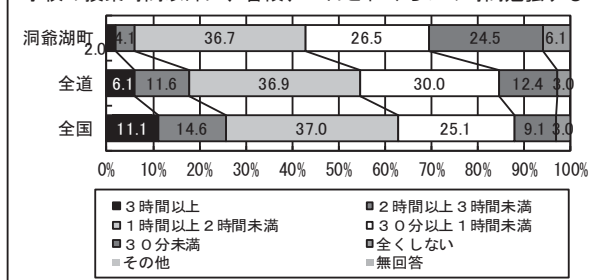
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



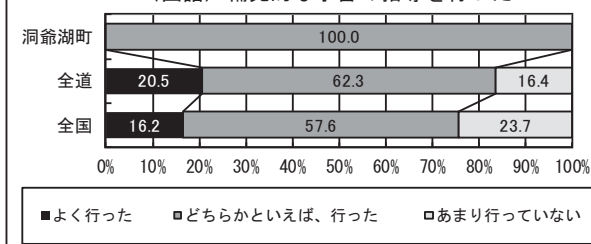
【児童質問紙調査】

学校の授業時間以外に、普段、1日どれくらいの時間勉強する



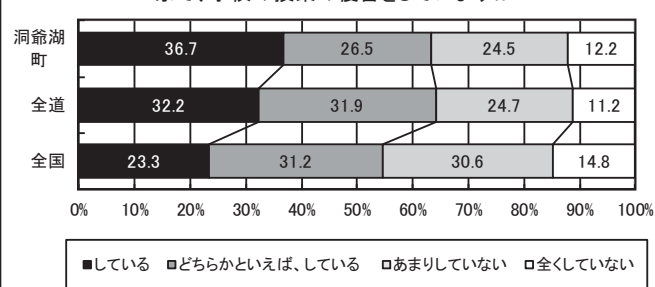
【学校質問紙調査】

（国語） 補充的な学習の指導を行った



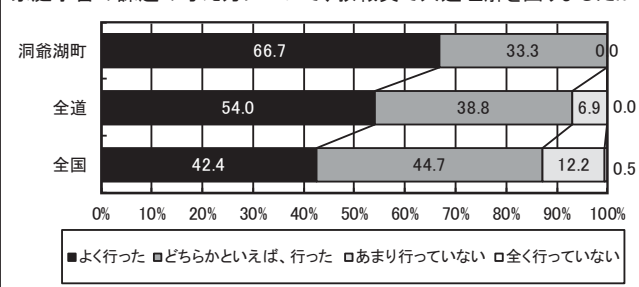
【児童質問紙調査】

家で、学校の授業の復習をしていますか



【学校質問紙調査】

家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図りましたか



【分析】

教科	○全ての教科において、全国及び全道の平均正答率を下回っており、その差が広がった。国語Bにおいては、全道、全国との差が大きい。 ○国語Aでは「話すこと・聞くこと」が全道との差が縮まっている。 ○算数Aでは「数量関係」で全道との差が縮まっているが、平均正答率に学校間の差がある。	○学校で家庭学習の与え方について教職員で共通理解を図って指導したことにより、家で学校の復習に取り組む児童が増加していると考えられる。
児童質問紙	○家で学校の授業の復習をしていると回答した児童の割合が全国及び全道を上回っている。 ○家で平日30分以上2時間未満の家庭学習をしている児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○「洞爺湖町自立的学びのためのスタンダード10」を保護者に配付し、家庭と連携して指導したことにより、学習習慣の定着や生活習慣の定着が図られていると考えられる。
学校質問紙	○全ての学校で家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図っている。また、国語の補充的な学習を行った割合が、全国及び全道を上回っている。	○学習規律の定着が学力向上に必要と考えられる。

【洞爺湖町の学力向上策】

- ◎洞爺湖町スタンダード10研修委員会の「洞爺湖町自立的学びのためのスタンダード10」の全町的取組への支援
- ◎町独自の教職員の資質向上のための先進校視察研修の実施
- ◎町独自の「標準学力調査(全面改訂版)」の実施